

# 简体字 の手引き

## 目次

1. 简体字とは
2. 基本的な简体字の練習
3. 注意すべき简体字
4. 演習問題
5. 附录『简化字总表』
6. おわりに



# 1.簡体字とは

---

## 1-1.基本概念

簡体字というのは本来、「複数の同音同義の漢字のうち筆画の簡略化された漢字」を指すものであるが、この手引きでは「**現在中国大陆で一般に使われている漢字**」と定義することにする。簡体字という語を使う場合、このような定義を最初に規定しなければならない。なぜなら、日本においても戦後に旧来の字体から新字体への文字改革が独自に行われたため、大陸字形と台湾字形が同じで日本字形だけ異なるといった現象が見られるからだ。たとえば、繁体字の「繁」はその一つである。大陸や台湾では日本と違い、「毋」ではなく「母」を使って「繁」と書く。この場合、大陸字形は康熙字典体を引き継いでおり、日本字形(新字体)よりも一画少なくなっている。このような場合、「繁は繁の簡体字」と表現できるかどうかについては、書物によって扱いが異なるのだ。厳密に言えば簡体字ではないのだが、この手引きでは便宜上、簡体字として扱う。

## 1-2.簡化字の誕生

19 世紀後半、西洋列強のアジア進出は極東地域に大きな動揺を与えた。自国の存続のためには西洋の文明を吸収して行かなければならないという言説が強力となったこの時期、日本で「漢字廃止論」が盛んに唱えられていたことを知る人は少ない。中国でも清末から漢字簡略化の運動が、教育の普及・国力の増強という目標と結びつけられて活発化した。

中国では『康熙字典』に載っている字が正字とされ、長い間印刷における標準字体となっていたが、手書きでは簡略化が多く見られた。漢字簡略化の運動が高まると、字形の整理の為そういった俗字の類が収集された。さらに、日中戦争時代の抗日根拠地や国共内戦時代の解放区では、新たに多くの簡体字が作り出された。中華人民共和国成立後、識字率の上昇を図る共産党によって積極的にこれらの漢字が受容され、1956 年に「漢字簡化方案」が『人民日報』紙上で正式に発布された。ここに、「政府公認の新たな正字」として、「簡化字」が誕生した。

簡化字という言葉は、旧来の正字に対する概念であり、あくまで簡略化された漢字に関してのみ用いる。旧来のままの漢字は「伝承字」といい、現代中国の漢字は簡化字と伝承字で構成されると言ってよい。先ほどの「繁」は、簡体字であって伝承字である。

## 1-3.「簡化字総表」の制定

1964 年に、具体的な簡化方法を定めた「簡化字総表」が制定された(1986 年改定)。附録に載せたので、その見方のみをここで説明しておく。

第一表には「簡化偏旁として用いられない簡化字」350 字が、第二表には「偏旁として用いてよい簡化字」152 字と「簡化偏旁」12 字が掲げられている。分かりやすいので後者から説明すると、第二表に載っている漢字は、それが他の漢字の構成要素として見られる場合も簡略化してよい(というか、すべき)漢字のことである。ひと言で言うと、「**応用の利く漢字**」だ。例えば、「貝」の簡体字である「贝」は、「財」、「責」、「須」などの字に対して、「財」、「責」、「須」のように、簡体字のパーツとして使えるのだ。

一方で、第一表に載っている漢字は、このような応用をしてはいけない。例えば「習」の簡体字は「习」であるが、褶曲の「褶」の簡体字を「𠂔」としてはいけない。また、「補」の簡体字が「补」であるからといって、「浦」の簡体字を「汴」としてはいけない。第一表の漢字に関しては、逐一覚えていくしかないのだ。

また、第二表の漢字を利用して作られた簡体字 1753 字が第三表として掲げられているが、これは割愛する。

ちなみに、「簡化字総表」に載っている漢字の一字あたりの平均画数は 10.3 画で、これらの漢字が全て繁体字だった場合は 16.1 画となるらしい。中国の簡体字は日本の新字体に比べて遥かに「筆画数の減少」にウェイトを置いている。

#### 1-4. 簡略化の主な方法

簡略化の方法には、主に次の 7 種類が挙げられる。

##### ①輪郭を残す

例) 龜→龟、奪→夺、慮→虑

##### ②特徴のある部分を残す

例) 聲→声、醫→医、減→灭

##### ③新たな形声字を作る

例) 優→优、遷→迁、驚→惊、響→响

##### ④筆画が簡単な会意字を作る

例) 衆→众、竈→灶、隊→队

##### ⑤同音字に置き換える

例) 裏→里、醜→丑、幾→几

##### ⑥草書体を楷書化する

例) 書→书、專→专、東→东

##### ⑦複雑な部分をより簡単な記号に換える

例) 鷄→鸡、區→区、劉→刘

簡略化の中には政府主導で強引に進めたものもあったが、多くの簡体字は一般に使われていた俗字を、その当時だけでなく過去にまで遡って、選定された。

簡化字の由来を一字ごとに詳しく知りたいという方は簡化字 bot (@jianhuazi\_bot) のフォローを薦める。これに関連する bot として二簡字 bot (@jianhuazi\_bot2) というものもあるが、二簡字というのは「第二次漢字簡化方案」という廃案に載っている字のことを言い、現在使われていない漢字なので注意が必要。

## 2. 基本的な簡体字の練習

それでは簡体字の練習をしよう。ここにある内の幾つかは、既に教科書で何度も出てきた基本的な字であるが、基本的だからこそ穴があったら大変だ。ある基本的な簡体字を間違っ  
て覚えたら、その字が構成要素となる別の多くの字も、全部間違ってしまうからだ。という  
わけで、「簡化字総表」の第二表を参考にして、基本的な簡化を含む漢字を 25 字厳選した。

### ①「讀」の簡体字(言偏と「賣」の簡体字の練習)

dú  
【 读 】

读

- ・言偏は二画で書く。
- ・「買」の簡体字の上に「十」を付ければ、「売」の簡体字になる。  
「土」と書かないように注意する。

### ②「場」の簡体字(「易」の簡体字の練習)

chǎng  
【 场 】

场

- ・4画目は繋げて書く。総画数は6画。
- ・量詞としての用法では、[cháng]と読む。

### ③「經」の簡体字(糸偏と「丕」の簡体字の練習)

jīng  
【 经 】

经

- ・糸偏の3画目に「丶」を付けないよう注意。
- ・旁は「スエ」と書けば大丈夫。「圣」と書くと、「聖」の簡体字になってしまう。

### ④「釈」の簡体字(「𦰩」の簡体字の練習)

shì  
【 释 】

释

- ・「又」の下横線は二本。「丰」と書かないように。

⑤「陳」の簡体字(「東」の簡体字の練習)

chén  
【陈】

陈



- ・阜(こざと)偏は2画で書く。
- ・「东」の3画目ははねる。4、5画目ははらわない

⑥「驗」の簡体字(「馬」と「僉」の簡体字の練習)

yàn  
【验】

验



- ・馬偏は3画。右下はくつつくけれど、左上は離れる(この説明通じるかな…)。

⑦「飯」の簡体字(食偏と「反」の簡体字の練習)

fàn  
【饭】

饭



- ・食偏の2画目、金偏と違ってはねるのを忘れずに。
- ・簡体字の「反」の一画目は、右上から左下に向かってはらう。

⑧「鴨」の簡体字(「鳥」の簡体字の練習)

yā  
【鸭】

鸭



- ・「鳥」の書き順こうだ！

鸟 鸟 鸟 鸟 鸟 鸟

- ・既に学習したが、「乌」だと「鳥」になってしまう

⑨「轉」の簡体字(「車」と「專」の簡体字の練習)

zhuǎn  
【转】

转



- ・繁体字は「轉」で、「転」は日本独自の字体。そして「專」は「專」の繁体字。つまり「专」は「專」の簡体字となる。
- ・「专」の総画数は4画。3画目は二回折れる。
- ・3声の「转」は<変える>とか<回す>といった意味。<ぐるぐる回る>といった意味合いが強い場合は4声[zhuàn]になる

⑩「覽」の簡体字(「臨」と「見」の簡体字の練習)

lǎn  
【覽】

覽

- ・「臣」は「リ」のように略されることが多い。
- ・5画目は「一」ではなく「丶」なので注意。

⑪「倫」の簡体字(「侖」の簡体字の練習)

lún  
【倫】

伦

- ・傍の部分を「倉」の簡体字「仓」と混同しないように。

⑫「鋼」の簡体字(金偏と「岡」の簡体字の練習)

gāng  
【鋼】

钢

- ・金偏の最初は「丷」ではなく「ㄣ」
- ・中国語の「冈」は<尾根>の意味。<丘>の意味では、「山」を上につける(岗)。

⑬「擱」の簡体字(「門」の簡体字の練習)

gē  
【擱】

搁

- ・日本語では、筆を擱(お)くと書く「擱筆」くらいでしか見ない字だけど、中国ではもう少し色々な使い方があるようだ。でも、基本の意味は《置く》
- ・門構えは日本の略字とは異なるので注意。書き順は「丶」→「丨」→「丿」だそうだ。
- ・<耐えうる>という意味では[gé]と読む。

⑭「楽」の簡体字

lè  
【乐】

乐

- ・1画目は左はらい。2画目の「厶」と繋げて書かない。
- ・草書体を楷書化したからか、「东」と同じように3画目ははねる。4、5画目は止める。
- ・「音乐」は[yīnyuè]で、「乐园」は[lèyuán]であった。これはちょうど日本語における「ガク／ラク」の使い分けと対応する。音楽関連の場合は[ガク=yuè]、＜楽しい＞という意味では[ラク=lè]と読めばいい。
- ・「薬」の簡体字は「茛」ではなく「药」なので注意。

⑮「颠」の簡体字(「真」と「貝」の簡体字の練習)

diān  
【颠】

颠

- ・「真」の書き方は案外難しい。「𠂔」の中は線が3本。「直」も簡体字では「直」となるので注意。
- ・「貝」や「見」の簡体字の3画目は、上に付けない(離す)こと。

⑯「恶」の簡体字(「亞」の簡体字の練習)

è  
【恶】

恶

- ・「並一ソ」みたいな簡化をする。ちなみに「业」だと「業」の簡体字になる。
- ・＜嘔吐の感覚＞を意味する「恶心」という熟語では[ěxin]という発音になる。
- ・「恶」にも意味による音の使い分けがある。「善惡」など＜わるい、いやな＞という意味では[アク=è]と読むが、「憎惡」など＜にくむ＞という意味では[オ=wù]と読む。

⑰「祸」の簡体字(「𠂔」の簡体字の練習)

huò  
【祸】

祸

- ・「口」→「内」と書けばよい。

⑱「張」の簡体字(「長」の簡体字の練習)

zhāng  
【張】

张



- ・「ノ」→「一」→「レ」→「ㄣ」の順番。

⑲「韓」の簡体字(「韋」の簡体字の練習)

hán  
【韩】

韩



- ・実は「車」の真ん中は「日」ではなく「曰」。
- ・「圉」の旧字体は「圍」なので、簡体字は「围」になる。

⑳「焼」の簡体字(「堯」の簡体字の練習)

shāo  
【烧】

烧



- ・「戈」ではない。「ㄣ」を付けてはいけない。

㉑「圈」の簡体字(「卷」の簡体字の練習)

quān  
【圈】

圈



- ・「己」ではなく「巳」
- ・「卷」の六画目の開始位置も日本と若干違うので注意。「ソ」→「夫」と書く。

㉒「籠」の簡体字(竹冠と「龍」の簡体字の練習)

lóng  
【笼】

笼



- ・絶対に「ㄣ」を忘れないように！え、忘れたことない…？
- ・竹冠の点の向きに注意。6画目もはらわず「ㄣ」のまま。



②③「発」または「髮」の簡体字

fā/fà  
【 发 】

发

- ・「友」の一画目を曲げて、最後に「丿」を付ければ良い。
- ・[fā]なら「発」の簡体字。[fà]なら「髮」の簡体字。

②④「窓」の簡体字(穴冠の簡体字の練習を含む)

chuāng  
【 窗 】

窗

- ・穴冠は「儿」ではなく「ハ」のように書く。

②⑤「贏」の簡体字(純粋な漢字練習)

yíng  
【 赢 】

赢

- ・最後に変なものをぶっ込みたかった。＜勝つ＞という意味の漢字で割と使うらしい。
- ・熟語としては「赢得」、「赢余」、「输赢(≡勝敗)」などがある。

確認問題

上の 25 字を応用し、次の漢字(新字体)を簡体字に直せ。中国語に訳せとは言っていない。  
なお、シケプリ制作者の性格の悪さを若干考慮すること。

A. 鍋

B. 沢

C. 轆

D. 壺

E. 賜

F. 諫

G. 伝統

H. 検閲

## 確認問題の答え

A. 锅 (⑫と⑰を参照)

B. 泽 (④を参照)

C. 轆 (⑨と⑭を参照)

D. 壺 (⑯を参照)

E. 赐 (⑮を参照)

F. 諫 (①を参照)

G. 传统 (⑨と③を参照)

H. 检阅 (⑥と⑬を参照)

### (注意点)

B. 「沢」の繁体字(=旧字体)の「澤」を考える。

D. 「亞」が簡化されるわけだが、「冫」と「业」は離れるので注意。

E. 旁は「易」ではなく「易」なので、「𠂔」とはならない。こんなんに引っ掛かってはダメ。

F. 「は？」ってなった人が多いはず。以下にややわかりにくい解説を記す。

#### 「東」と「東」

「東」が入る常用漢字を挙げてみよう。「棟」や「凍」はトウと読む一方、「練」や「鍊」はレン、「欄」はランと読む(「陳」は会意文字なのでここでは省く)。これらから何が分かるか。上の漢字全てを旧字体に直そう。「棟」、「凍」、「**練**」、「**鍊**」、「**欄**」となる。赤字は「東」が「東」になっている。「東」はカンと読み「東」とは別字であるのだが、昔からよく混同され、新字体で「東」に統合されてしまったのだ。すると F に出した「諫」は俗字で、正しくは「諫」なのだ(音読みがカンであることから分かるだろう)。中国では「東」と「東」をしっかりと区別する。だから F の旁は「东」にはならず「東」なのだ。ただ、現代中国で「諫」の字はほとんど使わないので、言偏しか簡化されていない。よく使う「練」、「鍊・煉」、「揀」の3字に関してのみ、旁の簡体字が存在する。「东」とよく似ているが、微妙に違うので注意深く見て欲しい。「**练**」、「**炼**」、「**拣**」。

### 3. 注意すべき簡体字

一応これまでの内容は、使用テキストに関わらず全中国語学習者を対象としたものであったが、いよいよここからシケプリらしく、『現代漢語基礎改訂版』や『現代漢語基礎口語演習教材』で扱った内容に特化していく。この章では既出の漢字のうち、注意点のある簡体字を確認しうる限り列举していく。2章で既に述べた内容も、場合によっては再度記述する。

注意すべき部分を赤字で説明したが、この説明文には日本語のフォントを用いていることに注意していただきたい。

#### 3-1. 教科書発音編に見られる漢字

◎ 012, 013, 017, 023, 038(中国語一列の最初のミニテストの試験範囲)

设	全ての「殳」は二画目を跳ねない 「没」、「投」、「殴」等も同様	反	一画目は右上からはらう
举	「手」ではない	紧	糸が下に来るときは跳ねる 「紫」、「素」等も同様
低	全ての「氐」の五画目は 「一」ではなく「丶」 「底」、「邸」等も同様	包	「包」と「巷」だけ「巳」と覚える (当然「泡」、「港」等にも適用) ☆「記」、「改」などには適用されない
薄	杜甫の「甫」＋「寸」 要するに薄儀の「薄」	空	穴冠は「ハ」のように書く 「へ」はダメ！
单	繁体字はそれぞれ 「單」、「淺」	铅	「鉛」、「沿」、「船」 の三字にだけ注意
浅	日本では3つ、大陸では2つに	舍	向きが変わる 「舍」と「捨」にだけ注意
简	竹冠の向きに注意！	置	「直」の簡体字として覚える 「真」の上部もこうなる

☆基本的にページの順番(小→大)と左上→左下→右上→右下の順番は一致させているが、最後(右下)に前ページに出てきた漢字を補足することがある。ペイントで作成しているため修正が非常に面倒であることに免じていただきたい。

拔

大陸では「友」が、  
「友」 + 「丶」になる

※「拔」の旧字体は「拔」

海

「毎」は日本独自の字体  
簡体字は旧字体と同じく「毎」だ

隔

日本では「ル」みたいになるが、  
大陸では「ソ」みたいになる

阜偏は2画

写

「与」を含む漢字は全部こうなる  
バランス悪い気はするけどね...

具

「具」も「直」と同じようになる

牌

実はつなげて書くシリーズ①

「卑」は1画減ってしまう！  
「白」→「ノ」→「十」と書く  
「啤」や「碑」にも適用される

杀

「木」が下に来るときは、  
「ホ」になったりならなかったり  
...逐一覚えていこう

孤

「瓜」は5画で書く(ムが2画)  
5画目の開始位置も日本と若干違う

赏

「广」の1画目など、日本だと「丨」  
だが、大陸だと「丶」になる事がある  
しかし、「賞」や「党」は例外！  
なぜなら音符が「尙」だから...

苏

「為」の簡体字「为」とは違う

コラム(この中国語なに？クイズ)

スペースが余ったので、調整するためにクイズを出題します。

A. 作品名クイズ

- ① 小狗圆舞曲 (作曲：肖邦)
- ② 戴上假睫毛 (歌手：凱莉葩繆葩繆)
- ③ 少爷 (著作：夏目漱石)
- ④ 飘 (著作：米切尔)

B. 企業名クイズ

- ① 乐天
- ② 夏普
- ③ 星巴克

### 3-2. 口語演習教材の生詞に見られる漢字

#### 第一課～第三課

花

「化」の3画目は突き出す  
「華」の簡体字なども同様

片

日本の字体でも4画なんだけど  
たまに分けて書く人がいるので

橘

日本の字形と同じだが、常用  
漢字ではない難しい字なので...  
「予」ではなく「矛」

尔

2画目は跳ねる！「你」等も同じ  
これが無いと中国人は読めない by 張老師

德

「惠」の横線を忘れずに  
※旧字体と同じ字形

醬

旧字体を知っている人はむしろ間違える  
旧字体では「夕」の中が二点なのだが、  
簡体字では「夕」と書けばよい

涩

「刀」、「刃」ではない

天

※「将」の簡体字は「将」  
「醬」、「漿」など「将」が上にある文字のみ、「寸」が無くなる

劳

旧字体の「勞」は「苒」になる  
「勞」→「劳」の他には、  
「螢」→「螢」、「營」→「营」  
などがある

穿

下の方が長い！  
「牙」は4画  
二画目「厶」をつなげる

免

実はつなげて書くシリーズ②  
「免」は一画減ってしまう！  
「ク」→「口」→「儿」と書く

丝

「幺」にしない  
一本線！

#### 第四課～第五課

菲

「非」の1画目は、  
はらわずに止める

餐

複雑な字はまず拡大し、  
そして分解して覚えよう

上部が書ければ、「餐」も書ける筈

导

「己」や「巳」ではなく  
「巳」

卡

「卡」のように分けない  
[ka]という発音を表す漢字で、  
カード、カロリー等の意味がある

收

実は旧字体の字形  
「又」ではなく「攴」

在

3画目突き出さないらしい…。  
別に出てもいいと思うけど…

虎

「儿」ではなく「几」

户

地味に中国、日本、台湾で  
全部字形が異なる字  
それぞれ「户」「戸」「戶」

## 第六課～第七課

<p><b>黒</b> 「黒」の旧字体として覚える 「黙」も旧字体と簡体字は一緒だが パーツの位置がずれるので注意！ 「黙」となる</p>	<p><b>查</b> 「且」ではなく「旦」</p>
<p><b>烤</b> 「考」の5画目は左から右に払わず 普通に「一」を書きその下に「ㇿ」</p>	<p><b>喝</b> これも旧字体、「ヒ」ではない ※日本でも「葛」の字に関して二つの 字形が併存しており葛飾区は「葛」 葛城市は「葛」と定めている。</p>
<p><b>藏</b> どちらも旧字体と同じ</p>	<p><b>亮</b> 「虎」と同じパターン 「几」ではなく「凡」</p>
<p><b>歩</b> 頑張って覚えてよう</p>	<p><b>麗</b> 「麗」の上部を取ったのだが、 1画目は一本線になる</p>

### ☆補遺

<p><b>务</b> 「務」の旁を取った簡体字だが、 「攵」ではなく「攴」になる すなわち、一画減る</p>	<p><b>莎</b> 中国語の「少」の字は、 1画目跳ねない！ 「歩」も同じように書く</p>
---	--

## 3-3. 両教材の会話文や例文に見られる漢字

### 第一課～第四課(教科書)

<p><b>糖</b> 「唐」の7画目は少し突き出る 実はこれも旧字体と同じ字形で、 突き出ないのは日本だけなのだ</p>	<p><b>瓶</b> 「瓦」は4画！ 2画目は一息に「レ」と書く</p>
<p><b>谢</b> ややこしいのだが「身」は日本と一緒 身が偏になる漢字(射、躺、軀)や、 それを構成要素に持つ漢字では、 最後の「ノ」が突き出ない！</p>	<p><b>别</b> はみでる</p>
<p><b>叫</b> 一画で「レ」と書く これも突き出さない</p>	<p><b>瘦</b> 「叟」を書けるようになろう 「白」→「丨」→「又」と 書けば良い</p>

### 漢字学のことは①

形声文字のうち、発音を表す部分を＜音符＞又は＜声符＞、類型的な意味を表す部分を＜意符＞又は＜義符＞といい、大抵は＜意符＞が部首になる。なぜ「問」の部首が「口」なのか、もう分かるだろう。

第五課～第八課(教科書)

微

間に線が一本入るので注意  
ただし「徴」の簡体字は「征」  
「懲」の簡体字は「懲」になる。

差

実はつなげて書くシリーズ④  
「差」の書き方はソ→三→ノ  
「差」も同じく、一画減る

角

「角」は、はみ出る！  
全ての「角」を含む字も同様  
例)解→解、触→触

产

「生」を書かないように  
「広」も「广」になるので注意

象

実はつなげて書くシリーズ③  
「象」の書き方はク→ロ→ノ  
一画減るので注意

概

実はつなげて書くシリーズ⑤  
「𠂔」は4画で次のように書く  
「一」→「ノ」→「ノ」→「ノ」

怎

「作」と書かないように

剩

「乘」という字の旧字体  
最後の「ハ」がなかったら乖離の「乖」

宮

「呂」は真ん中の橋が消える  
つまりロロと書けば良い  
※実は「明治神宮」の「宮」も正式  
にはこの字

节

「節」の簡体字  
草冠になる！  
「卩」ではない！

旅

下のように字形が変化する  
𠂔→氏 ※「派」等  
も同様

净

「𠂔」が「𠂔」になるシリーズ①  
この他にもいくつかある  
「𠂔」→「𠂔」のケースは無い

巳

「己」「巳」「巳」はどれも違う  
高校で習った人も多いはず

亲

あくまで「親」の簡体字  
「新」はこうならないので注意

第九課(教科書)

带

「卅」ではなく「卅」と書く！  
旧字体は「帶」  
日中で略し方が異なったのだろう

舞

実はつなげて書くシリーズ⑤  
「舛」の「𠂔」の部分  
大陸では一→ノ→ノと書く  
つまり3画になる

添

「天」ではなく「天」！  
つまり「添」の一画目の向きが逆

吴

「吳」の簡体字  
「天」になる！  
当然「誤」や「娛」にも適用される

滨


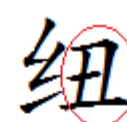








旧字体は「濱」  
(前総長の苗字なので知らない人はいないはず)  
大陸は「賓」を「賓」と略した  
日本では「濱」だけ「浜」にした

效

実は旧字体の字形  
「力」ではなく「攴」になる



## 第十～十一課(教科書)

 <p>「達」の簡体字 「太」って書かないように</p>	 <p>日本では3画目はみでるが、 大陸では、はみ出ない</p>
 <p>「為」の簡体字 (普段の板書でも使うようになるかも) 「辦事」の「办」と似て非なる ちなみに「办」は「辦」の簡体字</p>	 <p>「所」の「戸」だけ旧字体のまま</p>
 <p>「仮」の簡体字で、使い分けあり [jiǎ]と読めば、「仮」の意味 [jià]と読めば、「休暇」の意味</p>	 <p>「泰」は日中で異なる 5画目の開始位置が若干違う！ 「奉」「春」「奏」など全てに適用</p>
 <p>「差」と同じように一画減る</p>	 <p>「護」の簡体字 言偏→手偏になるので注意</p>
 <p>はみ出る</p>	 <p>本来の字は「聰」だが、 昔からよく略されていた 日本では「聡」と書くが、 ここに2つの法則を見出せる</p>

### ①八→ソの法則

全てに適用されるわけではないが、字を簡略化する際、「八」のように書かれている部分が「ソ」のような形になる傾向がある。

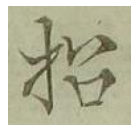
例) 削→削、卷→卷、尊→尊、尙→尚、遂→遂

### ②ム⇔ロの法則

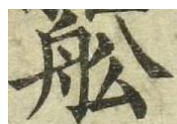
漢字の中の「ム」の部分と「ロ」の部分は往々にして入れ替わることがある。

例えば、「勾」という字は元々「句」の俗字であったという説がある。

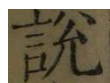
ただしこの法則の適用はかなり限定される。そのうち「公」にはよく適用される。



『開化千字文』という明治10年に書かれた書物に見られる字。  
①②の法則を適用すると、「松」の異体字であることが分かるだろう。



滝沢馬琴の草双紙の一つに見られる字。  
題名は『金毘羅船利生纜』、つまり「船」の異体字である。



世界史で習ったかも知れない『説文解字』の一写本から引用。「説」の異体字。  
①②の法則を組み合わせると、「聡」の簡体字が「聰」になる理由も分かるだろう。



### 3-4. 未出であるが注意すべき漢字

まだ教科書に出てきていないが、日本と字形の異なる漢字は多い。全てに解説を付与していくのは億劫極まりないので、下にいくつかの簡体字を列举してゆく。今までのように、注意深く字を見れば、どこが日本字形と異なるのか分かるはずだ。「実は一画減る」ケース、「ㄣがㄣになる」ケースなどを思い浮かべながら確認して欲しい。

变 减 决 凉 况 忍 器 压 处 判  
团 赖 修 敢 骨 鬼 傲 搔 画 害  
炭 改 切 航 述 祭 污 隆 などなど...

### 4. 演習問題

試験対策として役立つのは①だけであろう。

②は①～⑮は一応既修だが、雑学成分が高い。⑯～⑳と③は、類推力が試される。

1. 次のピンインを漢字(簡体字)に直せ

- ①shūfu    ②yuèdǐ    ③kāfēiguǎn    ④wǎnfàn    ⑤qiánbāo  
⑥huāpíng    ⑦wèntí    ⑧cèsuǒ    ⑨Zhūgě Liàng    ⑩wéiqí (惟其ではない)

2. 次の簡体字を日本字体に直せ

- ①坏    ②亲旧    ③这个    ④毕业    ⑤复旦大学  
⑥松紧    ⑦钥匙    ⑧过桥    ⑨两只鸡    ⑩认识  
⑪四块钱    ⑫吓人    ⑬苹果    ⑭袜子    ⑮钟头  
⑯营养    ⑰杀气    ⑱兴奋剂    ⑲舰队    ⑳庆应

3. 何の中国語か予想せよ

- ①假发    ②蜡烛    ③女仆装    ④信用卡    ⑤氣

(解答)

1

1. 舒服 2. 月底 3. 咖啡馆 4. 晚饭 5. 钱包  
6. 花瓶 7. 问题 8. 厕所 9. 诸葛亮 10. 围棋

2

1. 壞 2. 親旧 3. 這個 4. 畢業 5. 復旦大学  
6. 鬆緊 7. 鑰匙 8. 過橋 9. 兩隻鷄 10. 認識  
11. 四塊錢 12. 嚇人 13. 蘋果 14. 襪子 15. 鐘頭  
16. 營養 17. 殺氣 18. 興奮劑 19. 艦隊 20. 慶応

3

1. かつら 2. ろうそく 3. メイド服 4. クレジットカード 5. 塩素

(解説)

1

①「舍」は「干」(3-1 参照)②「氏」は「丿」(3-1 参照)③非ははらわず(3-2 参照)、食偏に注意(2⑦参照)④「免」は一画減る(3-2 参照)、「反」は最初はらう(3-1 参照)⑤金偏に注意(2⑫参照)、「𠂔」は旁二本になる(3-1 参照)、「包」は「巳」(3-1 参照)⑥「化」は3画目突き出す(3-2 参照)、「瓦」は一画減る(3-3 参照)⑦門構え注意(2⑬参照)、「貝」の簡化を忘れない⑧「貝」の簡化を忘れない、「所」の「戸」は旧字体(3-3 参照)⑨言偏に注意(2①参照)、「曷」は「句」ではない(3-2 参照)、「亮」は「几」(3-2 参照)⑩「囿」は旧字体が「園」なので簡化が日中で異なる(2⑱参照)

2

- ①第十課⑥より。「不」は「𠂔」または「𠂔」の簡化に用いられる。例えば「还是」の「还」は「還」の簡体字である。「環境」「懷中」を簡体字にすると、「环境」「怀中」となる。  
②引っかけ。あくまで「親」の簡体字(3-3 参照)なので、「新旧」ではない。＜親類と昔なじみ＞を意味する実在する熟語だが、ほとんど使われない。引っかけです。  
③第二課⑥より。実は「这」は「這」の簡体字。日本語では這(は)うと読むが、これは国訓で中国にこの意味はない。「這般(しゃはん)の事情で～」というフレーズでたまに使われる「這般」という熟語のみ、＜この＞の意味を用いている。「个」は元々「箇」の竹冠の半分を取った略字で、日本語の「一ヶ月」などの表記に用いる「ヶ」の元となった字とも言われる。中国では「個」の簡体字としても通用するので、例えば「個人主義」を簡体字にすると「个人主义」となる。

- ④第十課[1]より。＜卒業＞を意味する熟語だが、「卒」の簡体字ではない。高校漢文で「おワリテ」と読む漢字を色々習ったと思うが、その中に「畢」の字があったはず。「畢竟」「畢生」などの熟語は日本でもたまに使う。1-4では③にあたる簡化方法で、「華」を「华」としたのと似ている。「業」は上の部分だけ取るという②にあたる簡化方法。
- ⑤第九課本文より。「复」という字は「復」と「複」どちらの簡体字でもある。「旦」が＜朝＞とか＜夜が明ける＞という意味であることを考えると、あてはまりそうなのは「復」だろう。
- ⑥発音編6の声に出して読んでみよう13より。反対の意味を並べた言葉が並ぶので、「なぜ緊の反対が松？」と思った人も多いだろう。こういう違和感は非常に大事で、事実これも簡体字。「鬆」は元々＜髪が乱れるさま＞という意味で、転じて＜粗い、しまりがない＞という意味として用いられるようになった。日本語では鬆(す)と読むことがあるが、このように読むときの意味は全て日本独自のもの(国訓という)。
- ⑦第八課[4]より。「钥」はカギの意味だが、元の字は「鍵」ではない。「鑰」なんていう字見たこと無い人が多いだろうが、中二くさい日本語が存在する。「秘鑰(ヒヤク)」という熟語で、意味は＜秘密の鍵＞、＜秘密を明らかにする手段＞。カックイイ！
- ⑧演習第七課より。「过」は全部「過」の簡体字。「過」とはならないので注意。
- ⑨第五課量詞より。「只」という字には[zhǐ]、[zhī]の二種類の読み方があった(例. 只剩三只了)。前者の場合は日本語の「只(ただ)」と同じ意味と考えて良いが、後者の場合、対になっているものの片方を数える語である「隻」の簡体字なのだ。
- ⑩演習第二課より。「认」は完全に形声字の作成であろう。「只」は「戠」の簡化に用いられることが多く、例えば「職員」「紡織」「旗幟」は「职员」「纺织」「旗帜」となる。
- ⑪第五課[7]より。特筆することはない。
- ⑫演習第七課より。威嚇の「嚇」の簡体字だったのだ。つまり「吓人」は、＜人を嚇(おど)かす＞→＜怖い・恐ろしい＞という意味で形容詞化した。
- ⑬演習第一課より。元の字はこうでしたっというだけ。「苹果」も昔から使われていた。
- ⑭第五課量詞より。「襪」なんていう字日本ではまず使わない気がするけど、辞書で「しとうず」で調べると見つかるかも。
- ⑮第十課[3]より。「钟」は「鐘」と「鍾」の簡体字。時刻を告げる＜かね＞の意味では「鐘」が一般的なのでこちらを模範解答としたが、「鍾」も＜かね＞の意味で使われることがある。代表例は「鍾乳洞」だ。鍾乳とは元々＜釣りがねの表面の突起＞の意。
- ⑯ここからは未出語彙の推測問題。3-2の「勞」や3-3の「宮」を参考にすれば、一文字目が「營」であることは容易に分かる。二文字目は未学習だが、「主」を構成要素に含むと考えられる。すると「營養」ではないかと推測できる。「栄養」じゃないの？という疑問が浮かぶだろう。「栄養」とは元来＜孝養を尽くすこと＞という意味であり、nutrientsの訳語は本来「營養」だったが、たびたび混同された。佐伯矩という学者が「栄養」表記の統一を提唱し、日本では「栄養」となった(高島俊男『漢字雑談』より)
- ⑰簡化の方法に「特徴のある部分を残す」というものがあった。これが「殺氣」あることは容易に推測できるだろう。

- ⑱「兴」が「興」の簡体字であることは既に習っている。こちらは簡化の方法で言うと「輪郭を残す」に当たるだろう。「興奮剤」、すなわちドーピング剤のことである。
- では読み方は？「高兴」は[gāoxìng]、「绍兴酒」は[Shàoxīngjiǔ]であった。つまり「兴」には[xìng]と[xīng]、二つの読み方があるのだ。おや待てよ、日本語でもそうだ。「興」には「キョウ」と「コウ」、二つの読み方がある。ショウコウシュのコウはxīng だから、キョウ=xìng だろうか？他の語を調べて見よう。「興味」は[xìngwèi]、「振興」は[zhènxīng]……どうやら正しそうだ。ならば「興奮剤」は[xīngfènji]……確かに正解ではある。
- 基本的に＜おこる＞という意味なら[xīng]、＜楽しむ＞という意味なら[xìng]であり、それぞれ日本語の「コウ」、「キョウ」と対応する。しかし2⑭の「楽」や2⑯の「悪」にあやかって、[コウ=xīng]、[キョウ=xìng]とするのは、危険である。中国の漢字音が日本に流入したとき、基本的に声調は失われるからだ。じゃあコウとキョウは何なのかというと、それぞれ呉音と漢音である。漢音は平たく言えば遣唐使たちが持ち帰ってきた漢字音で、基本的に日本の漢字は漢音が呉音を上書きしていく（呉音を排除し漢音を奨励する詔勅等がある）が、呉音が残し漢音と併存しているケースも幾つかある。本来両者に意味による差はない。例えば「示」は「教示」「示威」では呉音ジと読み、「図示」「示準」では漢音シと読むが、この区別の根拠は不明だ（中国でも読み方は[shì]だけである）。ただ、声調による意味の区別があった「興」に対しては、漢字音の声調変化という概念がない日本語という体系の中において、呉音／漢音の区別を導入したのだろう。
- ⑲ヒントは偏しかないね。舟偏と阜(こざと)偏の熟語。提督ならすぐに分かるかも。
- ⑳广(まだれ)が二個続いて、簡略化しなきゃいけない程度に複雑な字と言えば…。

### 3

- ①一文字目が「仮」の簡体字かつ旧字体。二文字目は「発」「髪」の簡体字。仮髪といえは「かつら」だろう。ピンインも注意。暑假の「假」じゃないし、発音の「发」じゃない。
- ②日本で「獨」を「独」、「觸」を「触」と簡略化した事の逆を考えると、「燭」は「燭」だと考えられる。○燭という熟語で一文字目が虫偏となると、「蠟燭」しかないだろう。
- ③中国語演習で「相扑」を習った。「卜」という字はボクと読むので、「業」の簡化によく用いられる。すると、「仆」は「僕」だろうか。女性の僕(しもべ)…メイドだろう。
- ④中国語演習で「交通卡」を習った。つまり「卡」はカード。信用は英語でクレジット。
- ⑤実は全ての元素に漢字一字の表記がある。例えばラジウムなら「鐳」、シーボーギウムなら「鐳」、臭素なら「溴」といったように。さて「氯」だが、まず「气」だから気体であると想像できる。音符は「录」で、「绿」と同じである。ちなみに発音も「绿」と同じ[lǜ]である。緑色の気体。黄緑色の気体。有毒。Cl。そう、塩素だ。

### 漢字学のことは②

動用字という言葉がある。音符と意符の場所が移動した異体字のことだ。例を挙げた方が早い。例えば「峰」と「峯」は音符の「夆」と意符の「山」の位置が移動しただけで、実質同字である。他には「略」「畧」とか「和」「味」とか。見知らぬ字に出会ったとき、たまにこの知識が効果を発揮する。例えば「槩」という字に出会ったとき、一瞬なんだか分からなかったが、パーツを動かせば「概」である。では「裡」の動用字は？誰もが知ってます。

## コラム(一音一字)

発音と漢字が一对一对応のものを覚えれば最強じゃないかと思ったので、まとめました。

小学館の『中日辞典』を利用して、\*が一つもついていない漢字は排除して考えました。

例えば[rì]には「日」の他に「駢」という漢字が載っていますが、\*がない=マイナーな漢字なので「日」を一音一字に認めました。

また、ここに上げるのは\*が二つ付いているものに限定しました。

以上の条件で機械的に収集したので、中国語初学習者としての実用性は考慮されていません。

また、音→漢字是一对一で成り立ちますが、漢字→音は必ずしも一对一ではないので注意して下さい。

fǎ 法	dāi 呆	lōu 楼	náng 囊	bié 别	guāi 乖	chǔn 蠢
fā 发	gāi 该	kǒu 口	lǎng 朗	piē 撇	guǎi 拐	cūn 村
dǎ 打	gǎi 改	hǒu 吼	làng 浪	piě 撇	guài 怪	cún 存
dà 大	hāi 咳	chōu 抽	káng 扛	tiè 帖	huài 坏	cùn 寸
ná 拿	zhǎi 窄	chǒu 丑	hàng 巷	niē 捏	zhuǎi 转	sūn 孙
nǎ 哪	shāi 筛	chòu 臭	rāng 嚷	qiē 切	shuǎi 甩	guāng 光
lá 拉	shǎi 色	shōu 收	ràng 让	qié 茄	wāi 歪	guǎng 广
hā 哈	shài 晒	shóu 熟	cáng 藏	qiě 且	wài 外	kuāng 筐
shǎ 傻	cāi 猜	ròu 肉	sǎng 嗓	biǎo 表	duī 堆	kuáng 狂
sā 撒	cài 菜	mǎn 满	sàng 丧	piǎo 漂	tuī 推	huàng 晃
wá 娃	běi 北	nán 难	wāng 汪	tiāo 挑	tuǐ 腿	chuǎng 闯
mō 摸	féi 肥	gàn 干	pěng 捧	tiǎo 挑	shuǐ 水	chuàng 创
mǒ 抹	děi 得	kàn 看	pèng 碰	tiào 跳	zuǐ 嘴	shuǎng 爽
fó 佛	nèi 内	chàn 颤	mēng 蒙	niǎo 鸟	duān 端	yuē 约
ě 恶	lēi 勒	rǎn 染	fěng 讽	niào 尿	duǎn 短	yuǎn 远
tè 特	gěi 给	zán 咱	děng 等	jiáo 嚼	tuán 团	yūn 晕
zhě 者	shéi 谁	cǎn 惨	néng 能	diū 丢	nuǎn 暖	quē 缺
chě 扯	zéi 贼	càn 灿	lěng 冷	niú 牛	luǎn 卵	xuě 雪
shě 舍	ǎo 袄	sàn 散	gèng 更	liū 溜	luàn 乱	xuè 血
rě 惹	pǎo 跑	ēn 恩	hèng 横	liǔ 柳	kuān 宽	juǎn 卷
rè 热	māo 猫	bēn 奔	chèng 秤	pián 便	kuǎn 款	quān 圈
tǐ 体	tǎo 讨	běn 本	shéng 绳	miàn 面	huān 欢	quǎn 犬
lǐ 哩	tào 套	pēn 喷	shěng 省	niàn 念	huǎn 缓	
rì 日	náo 挠	pén 盆	rēng 扔	pīn 拼	zhuǎn 转	
mú 模	nào 闹	pèn 喷	réng 仍	pǐn 品	chuǎn 喘	
nú 奴	lāo 捞	mēn 闷	zèng 赠	mín 民	chuàn 串	
nǚ 努	hǎo 好	mén 门	tōng 通	niáng 娘	ruǎn 软	
nù 怒	zháo 着	mèn 闷	nòng 弄	niàng 酿	zuān 钻	
kǔ 苦	shǎo 少	fēn 粉	lōng 隆	liǎng 两	zuàn 钻	
zū 租	ráo 饶	nèn 嫩	lòng 弄	pīng 乒	suān 酸	
cū 粗	rǎo 扰	hén 痕	hǒng 哄	mìng 命	wèn 问	
sú 俗	rào 绕	hèn 恨	hòng 哄	zhuā 抓	tūn 吞	
lú 驴	cǎo 草	rěn 忍	chòng 冲	zhuǎ 爪	lùn 论	
xú 徐	pōu 剖	zěn 怎	zǒng 总	shuā 刷	gǔn 滚	
ǎi 矮	móu 谋	sēn 森	zòng 纵	shuǎ 耍	gùn 棍	
bái 白	mǒu 某	áng 昂	sōng 松	guò 过	kǔn 捆	
pāi 拍	fǒu 否	pàng 胖	liǎ 俩	shuō 说	kùn 困	
mái 埋	tōu 偷	fàng 放	qiǎ 卡	zuō 作	hùn 混	
mǎi 买	tòu 透	nāng 囊	bié 别	zuó 昨	zhǔn 准	

## 5. 簡化字總表

### 第一表

本表共收简化字 350 个，按读音的拼音字母顺序排列。本表的简化字都不得作简化偏旁使用。

#### A

碍〔礙〕 肮〔骯〕 袄〔襖〕

#### B

坝〔壩〕 板〔闆〕 办〔辦〕 帮〔幫〕 宝〔寶〕 报〔報〕  
币〔幣〕 毙〔斃〕 标〔標〕 表〔錶〕 别〔彆〕 卜〔蔔〕  
补〔補〕

#### C

才〔纔〕 蚕〔蠶〕 灿〔燦〕 层〔層〕 换〔攙〕 谗〔讒〕  
馋〔饞〕 缠〔纏〕 忤〔懣〕 偿〔償〕 厂〔廠〕 彻〔徹〕  
尘〔塵〕 衬〔襯〕 称〔稱〕 惩〔懲〕 迟〔遲〕 冲〔衝〕  
丑〔醜〕 出〔齣〕 础〔礎〕 处〔處〕 触〔觸〕 辞〔辭〕  
聪〔聰〕 丛〔叢〕

#### D

担〔擔〕 胆〔膽〕 导〔導〕 灯〔燈〕 邓〔鄧〕 敌〔敵〕  
余〔羅〕 递〔遞〕 点〔點〕 淀〔澱〕 电〔電〕 冬〔冬〕  
斗〔鬥〕 独〔獨〕 吨〔噸〕 夺〔奪〕 堕〔墮〕

#### E

儿〔兒〕

#### F

矾〔礬〕 范〔範〕 飞〔飛〕 坟〔墳〕 奋〔奮〕 粪〔糞〕  
凤〔鳳〕 肤〔膚〕 妇〔婦〕 复〔復、複〕

#### G

盖〔蓋〕 干〔乾、幹〕 赶〔趕〕 个〔個〕 巩〔鞏〕 沟〔溝〕  
构〔構〕 购〔購〕 谷〔穀〕 顾〔顧〕 刮〔颳〕 关〔關〕  
观〔觀〕 柜〔櫃〕

#### H

汉〔漢〕 号〔號〕 合〔閤〕 轰〔轟〕 后〔後〕 胡〔鬍〕  
壶〔壺〕 沪〔滬〕 护〔護〕 划〔劃〕 怀〔懷〕 坏〔壞〕  
欢〔歡〕 环〔環〕 还〔還〕 回〔迴〕 伙〔夥〕 获〔獲、穫〕

#### J

击〔擊〕 鸡〔鷄〕 积〔積〕 极〔極〕 际〔際〕 继〔繼〕  
家〔傢〕 价〔價〕 艰〔艱〕 歼〔殲〕 茧〔繭〕 拣〔揀〕  
硷〔鹼〕 舰〔艦〕 姜〔薑〕 浆〔漿〕 浆〔漿〕 奖〔獎〕  
讲〔講〕 酱〔醬〕 胶〔膠〕 阶〔階〕 疔〔癰〕 洁〔潔〕

借〔藉〕 仅〔僅〕 惊〔驚〕 竞〔競〕 旧〔舊〕 剧〔劇〕  
据〔據〕 惧〔懼〕 卷〔捲〕

## K

开〔開〕 克〔剋〕 垦〔墾〕 恳〔懇〕 夸〔誇〕 块〔塊〕  
亏〔虧〕 困〔睏〕

## L

腊〔臘〕 蜡〔蠟〕 兰〔蘭〕 拦〔攔〕 栏〔欄〕 烂〔爛〕  
累〔纍〕 垒〔壘〕 类〔類〕 里〔裏〕 礼〔禮〕 隶〔隸〕  
帘〔簾〕 联〔聯〕 怜〔憐〕 炼〔煉〕 练〔練〕 粮〔糧〕  
疗〔療〕 辽〔遼〕 了〔瞭〕 猎〔獵〕 临〔臨〕 邻〔鄰〕  
岭〔嶺〕 庐〔廬〕 芦〔蘆〕 炉〔爐〕 陆〔陸〕 驴〔驢〕  
乱〔亂〕

## M

么〔麼〕 霉〔黴〕 蒙〔矇、濛、蒙〕 梦〔夢〕 面〔麵〕  
庙〔廟〕 灭〔滅〕 蔑〔蔑〕 亩〔畝〕

## N

恼〔惱〕 脑〔腦〕 拟〔擬〕 酿〔釀〕 疟〔瘧〕

## P

盘〔盤〕 辟〔闢〕 苹〔蘋〕 凭〔憑〕 扑〔撲〕 仆〔僕〕  
朴〔樸〕

## Q

启〔啓〕 签〔籤〕 千〔韃〕 牵〔牽〕 纤〔緯、纖〕 窍〔竅〕  
窃〔竊〕 寝〔寢〕 庆〔慶〕 琼〔瓊〕 秋〔鞦〕 曲〔麴〕  
权〔權〕 劝〔勸〕 确〔確〕

## R

让〔讓〕 扰〔擾〕 热〔熱〕 认〔認〕

## S

洒〔灑〕 伞〔傘〕 丧〔喪〕 扫〔掃〕 涩〔澀〕 晒〔曬〕  
伤〔傷〕 舍〔捨〕 沈〔瀋〕 声〔聲〕 胜〔勝〕 湿〔濕〕  
实〔實〕 适〔適〕 势〔勢〕 兽〔獸〕 书〔書〕 术〔術〕  
树〔樹〕 帅〔帥〕 松〔鬆〕 苏〔蘇、蘇〕 虽〔雖〕 随〔隨〕

## T

台〔臺、檯、颱〕 态〔態〕 坛〔壇、壇〕 叹〔嘆〕 誊〔謄〕  
体〔體〕 梟〔糴〕 铁〔鐵〕 听〔聽〕 厅〔廳〕 头〔頭〕  
图〔圖〕 涂〔塗〕 团〔團、糰〕 椭〔橢〕

## W

洼〔窪〕 袜〔襪〕 网〔網〕 卫〔衛〕 稳〔穩〕 务〔務〕  
雾〔霧〕

## X

牺〔犧〕 习〔習〕 系〔係、繫〕 戏〔戲〕 虾〔蝦〕 吓〔嚇〕  
咸〔鹹〕 显〔顯〕 宪〔憲〕 县〔縣〕 响〔響〕 向〔嚮〕  
协〔協〕 胁〔脅〕 袞〔褻〕 衅〔釁〕 兴〔興〕 须〔鬚〕  
悬〔懸〕 选〔選〕 旋〔璇〕

## Y

压〔壓〕 盐〔鹽〕 阳〔陽〕 养〔養〕 痒〔癢〕 样〔樣〕  
钥〔鑰〕 药〔藥〕 爷〔爺〕 叶〔葉〕 医〔醫〕 亿〔億〕  
忆〔憶〕 应〔應〕 痲〔癰〕 拥〔擁〕 佣〔傭〕 踊〔踴〕  
忧〔憂〕 优〔優〕 邮〔郵〕 余〔餘〕 御〔禦〕 吁〔籲〕  
郁〔鬱〕 誉〔譽〕 渊〔淵〕 园〔園〕 远〔遠〕 愿〔願〕  
跃〔躍〕 运〔運〕 酝〔醞〕

## Z

杂〔雜〕 脏〔臟〕 脏〔臟、髒〕 凿〔鑿〕 枣〔棗〕  
灶〔竈〕 斋〔齋〕 毡〔氈〕 战〔戰〕 赵〔趙〕 折〔摺〕  
这〔這〕 征〔徵〕 症〔癥〕 证〔證〕 只〔隻、祇、祇〕 致〔緻〕  
制〔製〕 钟〔鐘、鍾〕 肿〔腫〕 种〔種〕 众〔衆〕 昼〔晝〕  
朱〔硃〕 烛〔燭〕 筑〔築〕 庄〔莊〕 桩〔樁〕 妆〔妝〕  
装〔裝〕 壮〔壯〕 状〔狀〕 准〔準〕 浊〔濁〕 总〔總〕  
钻〔鑽〕

## 第二表

本表共收简化字 132 个。简化字按读音的拼音字母顺序排列。

## A

爱〔愛〕

## B

罢〔罷〕 备〔備〕 贝〔貝〕 笔〔筆〕 毕〔畢〕 边〔邊〕  
宾〔賓〕

## C

参〔參〕 仓〔倉〕 产〔產〕 长〔長〕 尝〔嘗〕 车〔車〕  
齿〔齒〕 虫〔蟲〕 刍〔芻〕 从〔從〕 窜〔竄〕

## D

达〔達〕 带〔帶〕 单〔單〕 当〔當、噹〕 党〔黨〕  
东〔東〕 动〔動〕 断〔斷〕 对〔對〕 队〔隊〕

## E

尔〔爾〕

## F

发〔發、髮〕 丰〔豐〕 风〔風〕



## G

冈（岡）广（廣）归（歸）龟（龜）国（國）过（過）

## H

华（華）画（畫）汇（匯、彙）会（會）

## J

几（幾）夹（夾）戈（戔）监（監）见（見）荐（薦）  
将（將）节（節）尽（盡、儘）进（進）举（舉）

## K

壳（殼）

## L

来（來）乐（樂）离（離）历（歷、曆）丽（麗）  
两（兩）灵（靈）刘（劉）龙（龍）娄（婁）卢（盧）  
虏（虜）卤（鹵、滷）录（錄）虑（慮）仑（侖）罗（羅）

## M

马（馬）买（買）卖（賣）麦（麥）门（門）黽（黽）

## N

难（難）鸟（鳥）聂（聶）宁（寧）农（農）

## Q

齐（齊）岂（豈）气（氣）迁（遷）仝（僉）乔（喬）  
亲（親）穷（窮）区（區）

## S

嗇（嗇）杀（殺）审（審）圣（聖）师（師）时（時）  
寿（壽）属（屬）双（雙）肃（肅）岁（歲）孙（孫）

## T

条（條）

## W

万（萬）为（為）韦（韋）乌（烏）无（無）

## X

献（獻）乡（鄉）写（寫）寻（尋）

## Y

亚（亞）严（嚴）厌（厭）尧（堯）业（業）页（頁）  
义（義）艺（藝）阴（陰）隐（隱）犹（猶）鱼（魚）  
与（與）云（雲）

## Z

郑（鄭）执（執）质（質）专（專）

## 6. おわりに

---

まず以下にこのシケプリ(?)の参考文献を記す。

- ・張静賢[著]、松岡榮志[監訳]『現代中国漢字学講義』(1997)、三省堂
- ・佐藤喜代治ら編集『漢字百科大事典』(1996)、明治書院
- ・ALA 中国語教室『書き込み式 中国語簡体字練習帳』(2014)、アスク出版
- ・沖森卓也『日本の漢字 1600 年の歴史』(2011)、ベレ出版
- ・高島俊男『漢字雑談』(2013)、講談社現代新書

このシケプリを読んだ、理解したからといって点数が上がることはほとんど期待できないだろう。言ってみればこのシケプリは漢字に興味を持つ筆者の自己満足である。無駄に蓄えた知識等を他者に披露する機会として利用したものである。試験直前に読むべきものではないだろう。

更に言えば、細かい字体差なんかに気を取られている暇があったら、どんどん単語や文法を覚えた方がいい。その方が上達の近道だ。とりあえず出現した簡体字を逐一覚えていけば良い。それを繰り返すうちに経験的に、なんとなく法則性のようなものがつかめていくはずだ。大体ちょっと字体が間違っようが、ぶっちゃけ通じるし問題ない。はい、それはごもったもんな意見であり、実践すべき学習法だろう。

ただ、それにしてもだ。字体に関する説明がこの教科書は乏しいように思う。その説明不足がさまざまな疑問を学習者に生み出しているように思われる(そして解決されないまま忘れ去られていく)。『译』って簡体字なのに『訳』より右側画数増えてるじゃん!』といった発言等を耳にすると、どうしても色々言いたくなってしまう。そこで自分は「字体」を中心に扱った教科書の副読本のようなものを作りたくなった。なるべく体系的に簡化の方法を論述したくなった。そういった思いからこのシケプリを作成したのである(むろん副読本の域には遠く及んでいないが……)。ついでに漢字関連の雑学も盛り込んだが、これは完全なる自己満足なので無視してもらって構わない。

とはいえ、このシケプリも説明不足な点が多く、新たな疑問を生み出してしまうかも知れない。もし解決したければ、正しく答えられる保証はないが、musashing@gmail.com にご一報いただければ幸いである。それか、中国語の先生に聞くことを勧める。

何か間違い等ある場合も、上のメルアドにご連絡お願いしたい。記憶や個人的経験を頼りに書いている部分も多いので、それなりに怪しい記述の多い自信がある。

最後にもう一度だけ断りを入れておく。このシケプリで使った「簡体字」の定義は、厳密には誤りである。本来は簡略化された文字にだけ簡体字という言葉を用いるのである。また、ハソの法則だのムロの法則だの、これらはこのシケプリ内での勝手な造語である。

あと、旧字体、読めるようになっておくと便利です。